

【0210_宋代の経済】 つぎの文中の空欄に適する語句を答えよ。

宋代になると、中国では新たな産業が展開し、都市経済が大きく発展した。江南の稲作は、南宋の時代に飛躍的に発展し、やがて「(1) (または蘇湖) 熟せば天下足る」といわれるように、長江下流域の地が中国の穀倉地帯となった。また、茶の栽培もさかんとなり、喫茶の風習が普及し、重要な輸出品ともなった。この農業の発展を支えたのが、自由な商業活動であり、都市の発展であった。商品の売買は、宋代には都市内の各地で行われるようになった。都市の人口も膨張し、(2) などの百万都市が登場したほか、地方の(3) から鎮や市とよばれる新興都市も発展した。こうして手工業が発展し、陶磁器・絹織物・漆器・紙などの生産が量・質ともに向上し、製糖・製塩・醸造業も発展した。都市の町並みも、より自由で実用的なものにかわり、さかり場には(4) を上演する芝居小屋などもでき、庶民の活気にあふれていた。都市では、商人たちが(5)、手工業者が(6) という同業組合をつくって活動した。商業の発展は貨幣経済の進展を促し、銅銭が大量に鑄造され、(7) や会子という紙幣の使用がはじまり、南宋では紙幣が主要な通貨となった。対外貿易も拡大し、唐代以来の広州に加えて、杭州・(8)・明州(寧波) などにも(9) が置かれた。南海諸国との貿易はとくに栄え、(10) 商人の来航も多くなり、新しい海港都市として栄えた。中国・朝鮮・日本の3国間では、朝貢交易とは別に民間の私貿易がさかんになり、多くの貿易船が往来した。とくに、日宋貿易によって、書籍や宋銭などが大量に日本に輸入された。こうして、東アジアは新しい交易ネットワークで結ばれた。

0210_宋代の経済

----- [解答] -----

1—江浙 2—開封 3—草市 4—雜劇 5—行 6—作 7—交子 8—泉州 9—市舶司
10—ムスリム